



正しく知ろう！がん検診

日本では、国民の2人に1人が「がん」になり、4人に1人が「がん」で亡くなると言われています。がんで亡くなるのを防ぐためには早期発見、早期治療が重要で、がん検診はそのカギを握ります。



保健師 山口

◎国が推奨するがん検診一覧

	検査項目	対象年齢	受診間隔
胃がん	問診に加え、胃部エックス線検査、または胃内視鏡検査	50歳以上 *当分の間、胃部エックス線検査については40歳以上に対し実施可	2年に1回 *当分の間、胃部エックス線検査については年1回実施可
子宮頸がん	問診、視診、子宮頸部の細胞診、内診	20歳代	2年に1回
	問診、視診、子宮頸部の細胞診、内診	30歳以上	2年に1回
	問診、視診、HPV検査単独法	*市区町村で実施する検査項目をご確認ください。	5年に1回 *罹患リスクが高い者については1年後に受診
肺がん	質問（問診）、胸部エックス線検査、喀痰細胞診	40歳以上 *喀痰細胞診については原則として50歳以上の重喫煙者（喫煙指数600以上の者）のみ	年1回
乳がん	質問（問診）、乳房エックス線検査（マンモグラフィ）*視診、触診は推奨しない	40歳以上	2年に1回
大腸がん	問診、便潜血検査	40歳以上	年1回

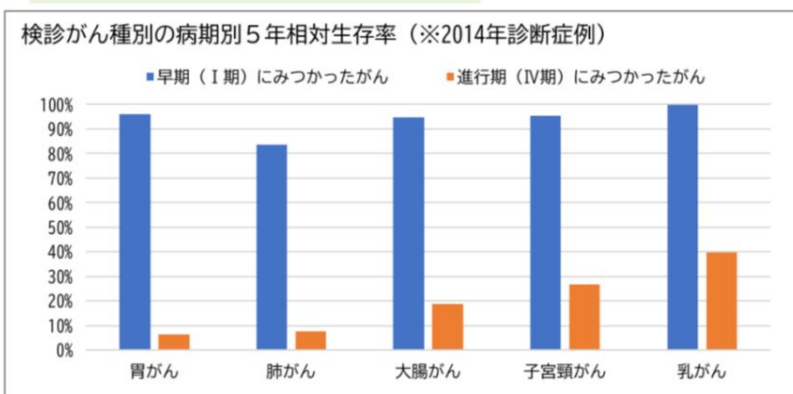
これらのがん検診は、下のグラフの通り、死亡減少効果が認められています。明石市でも補助が出て、低価格で実施されています。



がん検診の利益

胃がん 大腸がん 乳がん 子宮頸がん は90%以上

肺がん は80%以上が治ります。



がんは早期発見が重要です！
特に家族歴のある方は
上の表を見ながら、
1度がん検診を受けて
みましょう！

出典：厚生労働省 HP